

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月10日 (2008.4.10)

【公開番号】特開2002-257108(P2002-257108A)

【公開日】平成14年9月11日 (2002.9.11)

【出願番号】特願2001-52182(P2001-52182)

【国際特許分類】

F 1 6 B 5/02 (2006.01)

F 1 6 B 13/04 (2006.01)

F 1 6 B 13/14 (2006.01)

H 0 4 R 1/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 5/02 Y

F 1 6 B 5/02 R

F 1 6 B 13/04 B

F 1 6 B 13/04 G

F 1 6 B 13/14 A

H 0 4 R 1/02 1 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月25日 (2008.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 貫通する取付孔を有する取付部材を、貫通する被取付孔を有する被取付部材に、前記取付孔と前記被取付孔を貫通する固定部材により固定する固定構造において、前記被取付孔に挿入され、係合状態となる係合突起と、先端に前記取付孔に嵌合する嵌合部を有し、該取付孔に挿入された時該嵌合部が該取付孔に嵌合する嵌合突起と、挿入部材が挿入される挿入孔とを有し、

前記挿入部材の挿入により前記係合突起が拡開することを特徴とする固定部材。

【請求項 2】 前記取付孔は円形であり、前記係合突起は複数の円弧状部材で形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の固定部材。

【請求項 3】 前記取付孔は方形であり、前記係合突起は複数の平板状部材で形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の固定部材。

【請求項 4】 前記嵌合部は、前記嵌合突起の外周面に設けられた凸部からなることを特徴とする請求項 1、請求項 2 または請求項 3 記載の固定部材。

【請求項 5】 前記嵌合部は、前記嵌合突起の先端に設けられた爪部からなることを特徴とする請求項 1、請求項 2 または請求項 3 記載の固定部材。

【請求項 6】 前記挿入孔は、前記挿入部材の挿入方向の径が細くなるようなテーパが設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載の固定部材。

【請求項 7】 前記挿入孔と前記挿入部材には、ねじが切られていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の固定部材。

【請求項 8】 前記挿入部材は、タッピンねじであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の固定部材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明は上述の目的を達成するもので、貫通する取付孔を有する取付部材を、貫通する被取付孔を有する被取付部材に、前記取付孔と前記被取付孔を貫通する固定部材により固定する固定構造において、前記被取付孔に挿入され、係合状態となる係合突起と、先端に前記取付孔に嵌合する嵌合部を有し、該取付孔に挿入された時該嵌合部が該取付孔に嵌合する嵌合突起と、挿入部材が挿入される挿入孔とを有し、前記挿入部材の挿入により前記係合突起が拡開することを特徴とするものである。